つるせ西だより

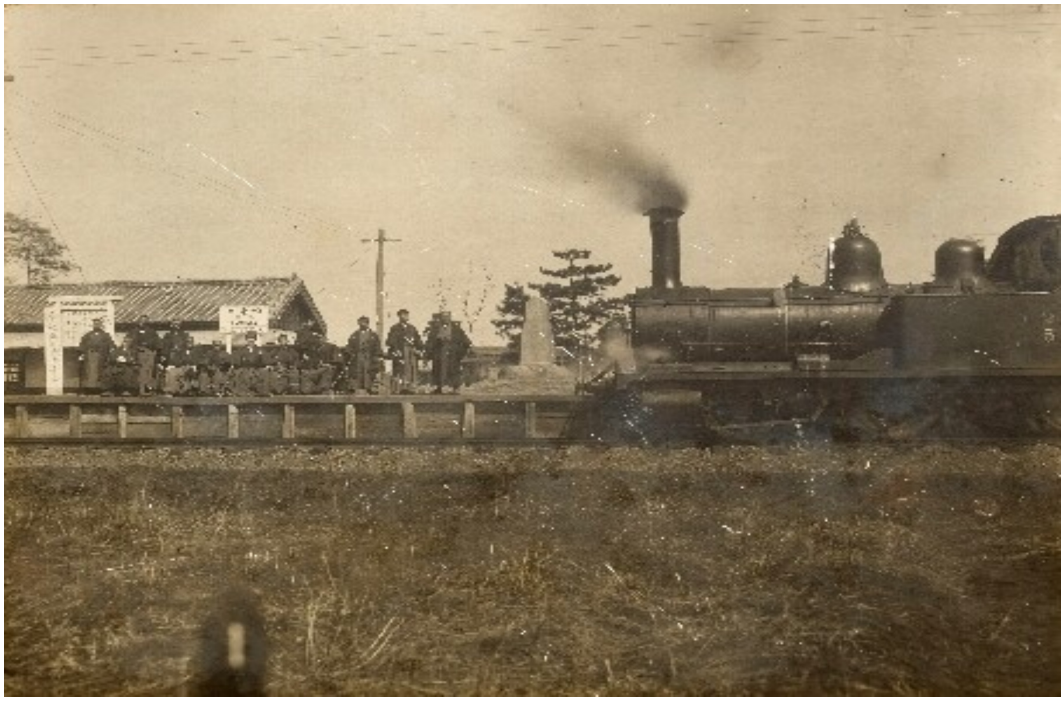
☆富士見市☆
マスコットキャラクター
ふわっぴー

～今月の特集～
昭和100年に想う

第201号（4月号）2025. 4. 1
編集：鶴瀬西交流センターだより編集委員会
発行：富士見市立　鶴瀬西交流センター
〒354－0021　富士見市大字鶴馬3575－1　TEL:049-251-2791　FAX:049-255-9707

地域の百景 71

鶴瀬駅開業百十一年



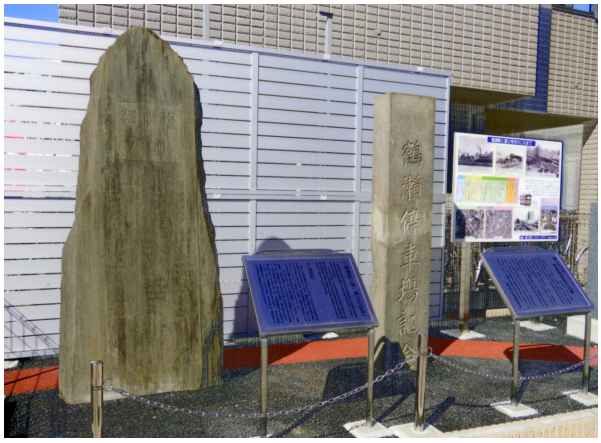
鶴瀬駅設置に導いた有志の集合写真（大正7年撮影）／難波田城資料館所蔵

鶴瀬駅東口を出てロータリー沿いを左に進むと、大正3年の東上鉄道（現東武鉄道東上本線）鶴瀬駅の開業を記念し、同年に設置された鶴瀬駅之碑と鶴瀬停車場記念の碑が建てられています。鶴瀬駅之碑には、地元の協力で開設されたことや、「此ノ日（略）老若歓呼ス。実ニ空前ノ盛事ナリ」（原文は漢文。市ホームページより）と、当時の歓喜の様子が刻まれています。また、鶴瀬駅停車場記念の碑には、駅建設時道路整備に出資した有志の氏名が刻銘してあります（石碑説明版）。

急行停車駅でもない地味な鶴瀬駅ですが、実は開通時9駅の第一期生だったのです（現在40駅）。当初は単線で蒸気機関車が動力車でしたが、その後の電化や複線化により基盤の整備が進み、昭和55年には西口が開設され利便性が飛躍的に向上、同62年には他社線相互直通運転が始まりその後の拡充につながります。駅は陸の玄関口とも言われ、そこを起点に街は発展して行きます。ふたつの碑を見ると、改めて誘致に尽力した先人の先見と苦労が偲ばれます。

※難波田城資料館では、3月15日(土)から6月8日(日)まで春季企画展「東上線開通110年」を開催中です。入場無料

（文・下段写真撮影／出井編集委員）



鶴瀬駅之碑（左）と鶴瀬停車場記念の碑